

令和元年度 住民懇談会 議事録（石浜地区）



開催日：令和元年 12 月 19 日（木） 午後 7 時～9 時

会 場：石浜コミュニティセンター

出席者：町長、副町長、教育長、企画政策部長、総務部長、健康福祉部長、生活経済部長、建設部長、教育部長、建設部技監、広報情報課長、防災交通課長、都市計画課長、事務局（広報統計係）

参加者：51 名

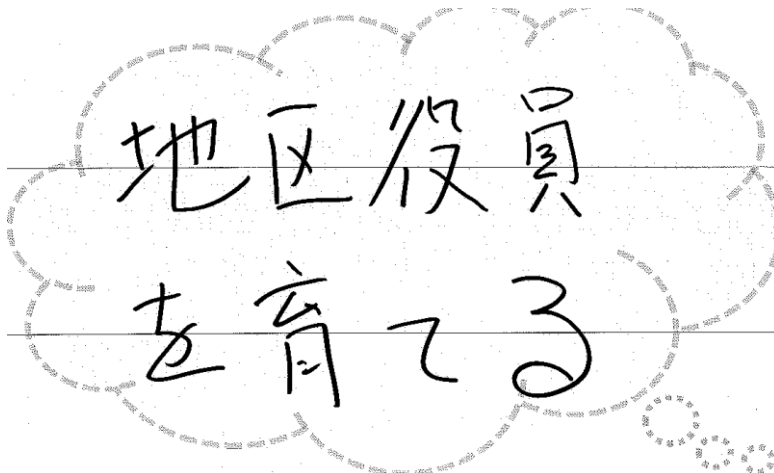
【開会】

（町長）

テーマの説明については別添のとおり

<意見交換>

【地区役員について】



（参加者）

地区の世話役がいることで、地区に暮らす方が過ごしやすくなります。近年では、高齢化の影響から、班長や組長に立候補する方が少なくなっています。そういった傾向を止めていかないといけないと思います。

（町長）

問題提起をいただきましたが、他の参加者の方で、ご意見のある方はいらっしゃいますか。

（参加者）

私は高校生です。高校生からすると、「地区役員」というものがあることを知りませんでした。若い方にも、地区役員の活動を知ってもらえるような活動をしてほしいと思いました。

(町長)

新鮮な意見です。若い方にも「地区役員」の活動を知ってもらえたら、何か行動が変わるかもという意見ですね。緒川新田地区では、役員を務める男性と女性で考え方が違うというご意見がありました。

(参加者)

高校生にも参加していただいて、嬉しく思います。高齢者だけでなく、若い方も一緒に話し合いができる機会があればいいと思います。

(町長)

本来は、様々な年代の方が混ざって話し合いができるといいと思っています。その一方で、企画政策課では年代で切り分ける「若者会議」を行っています。高校生から20代の若者たちが4グループに分かれ、アイデアを実現しようと試みています。

また、於大公園の使い方を考えるワークショップも行いました。このワークショップで出たアイデアから、「於大公園に泊まろう」というイベントが実現に至りました。若者会議ともコラボレーションし、野外音楽フェスを同時開催しました。

「於大公園に泊まろう」では、11月末の寒い時期に、50張り近いテントが張られ、夜には星空観察やキャンプファイヤーを行いました。朝には、きちんと掃除がされており、マナーのよさに驚きました。キャンプは遠くに行かないと楽しくないと思っていましたが、近場でキャンプをすることに、意外なニーズがあると思いました。防災にも使えるのではというご意見もいただきました。今後も、このイベントを、継続・発展させていきたいです。

(町長)

話を戻して、地区役員の話ですが、実際に地区を運営されている方からしたら、地区役員の後継者不足は重大な問題ではないでしょうか。

(参加者)

コミュニティ役員の高齢化が問題となってきています。役員の仕事は行事が中心であり、何のために役員を行っているのか分からなくなります。

先ほど町長がおっしゃったキャンプイベントなどは、同じ価値観を持つ方が意志を持って運営をしています。しかし、地区の行事は、面に網をかけるように、そこ

に住む方全てが対象となるため、価値観が違う方たちと一緒に運営していかなくてはならない難しさがあります。

町長、何かよいアイデアがあれば教えてください。

(石浜区長)

組長は大変な仕事だからやりたくないという声が多いと想定していたのですが、30代、40代で組長を経験した方から、もう一年やってもいい、という声が聞こえてきました。

自らの行動が地区のためになるという実感を持ってもらうことが、地区役員を育てることにつながると思います。

(県営住宅自治会長)

県営住宅の自治会長です。町長の話では、外国の方には触れられていませんでした。県営住宅では、約20パーセントの方が外国人です。東浦町では、近年、外国の方が増えていると思います。

また、県営住宅では、一定以上の年齢となり所得が多くなると、団地から引っ越してしまいます。そうすると、若者と高齢者しか残りません。そういった中、自治会の役員を見つけるのは困難です。そのため、役員の決め方は、輪番制ではなく指名制にしています。今後は、後任の役員の育成を行っていきたいと思います。

(参加者)

以前区長を行っていました。本日のような会合を行っても、参加者は同じような顔ぶれです。地区の役員はあまり変わっていないのだと実感します。

石浜地区では、地区の役員は輪番制になっていますが、地区の役員の中には何年も同じ役を引き受けてくださる方もいらっしゃいますので、上手く世代交代していければいいと思います。

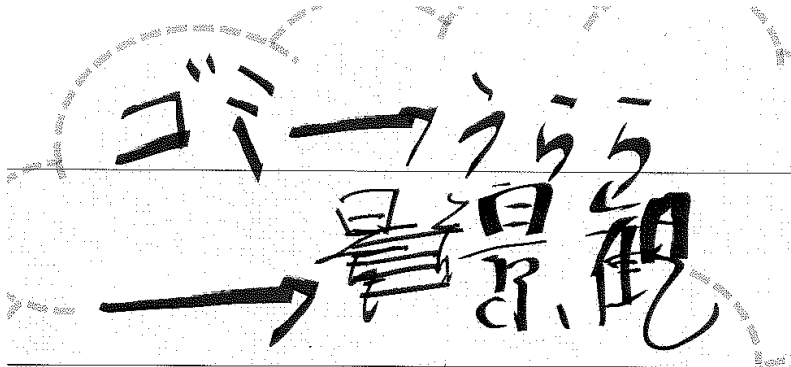
また、様々な行事を行うにあたり、中学生・高校生への募集を募り、様々な年代の方が参加できる環境づくりを行っていくといいと思います。

(町長)

同じ顔触れという意見がありましたが、今日、高校生が来てくれたように、核となるメンバーに加え、新しい顔ぶれが増えるといいと思います。

役員を育てるには、まちづくりに関与したという実感の積み重ねが大切だと思います。高校生もまちづくりに関与できる当事者であり、一人の人間として権利が認められているということを知ってほしいです。

【ごみステーションの不法投棄・町運行バス「う・ら・ら」について】



(参加者)

自宅の前にごみステーションがあり、不法投棄に悩まされていました。そこで、手作りのPOPをつくり張り出してみると、見事に不法投棄がなくなりました。

また、4月からごみ処理手数料が有料化され、ごみ袋が値上がりしましたが、地区の方はしっかりと理解されているということを実感します。

町運行バス「う・ら・ら」のダイヤ改正により、高齢者の方々の中には「う・ら・らの時刻に合わせて、自分たちの生活を変えなければ」という方がたくさんいらっしゃいます。困っていても、声をあげることができない方がいるということを知ってほしいです。

景観については、神戸市などの先進的な景観への取り組みの事例を参考にしながら、進めてほしいと思います。

また、本日は、町長さんとじっくりお話ができて、参加してよかったと思いました。

(町長)

本日は、皆さんに話してもらったり、住民さん同士でも話してもらったりしても良いと思っています。議会ではないので、いろいろな意見をざっくばらんに話していただければと思っています。

【ごみとボランティア活動について】

(参加者)

ごみステーションへ、車から降りずにごみを投げ捨てていく様子が見受けられます。これを防止するため、道路に面したごみステーションの角度を変更することは可能でしょうか。

また、私は「クリーンイレブン」のメンバーの一員として、高齢者のお助け活動を行っています。私たちは無給で働いていますが、ガソリン代のみでも補助してい

ただくことは可能でしょうか。

加えて、この活動が、シルバー人材センターなど他の事業所の活動とダブっていて妨害をしているのではという声も聞こえてきました。町長はどうお考えでしょうか。

(生活経済部長)

ご指摘のごみステーションについて、現地を確認したところ、用地に余裕があることと、ごみステーションが移動可能であることが分かりました。地区でごみステーションの向きを変えることを了承していただければ、可能だと思います。改めて、区長さんを通じて、ご要望をいただければと思います。

(石浜区長)

クリーンイレブンの活動については、町からのバックアップを既にいただいておりますが、もう少し手厚い補助をいただいてもよいかと思っています。

また、クリーンイレブンの活動が、シルバー人材センターやお助け隊と競合しているという話もありますが、地区の問題は、地区で解決するという理念にのっとり、今後も、クリーンイレブンの活動を支援していきたいと思っています。

(町長)

活動の重複については、団体ごとの住み分けは自然にできていくものだと思います。ただ、同じ仕事をしていて、組織の成り立ちが違うという問題はあるかもしれませんが、今後活動していく中でないと、はっきりと問題点が目に見えるようにならないと思います。

団体を長続きさせるには、活動が自立していることが必要だと思います。補助ありきの活動では長続きしません。

なお、子ども食堂は、町の補助は一切なく、独立採算で行っています。自分たちで回していくしくみを作って成立させているところが立派だと思いました。

【自治会・コミュニティ会員離れについて】

自治会員・コミュニティ会員離れ
に対し、メリットの見える化
例) ゴミ袋 10% OFF の会員証

(参加者)

平池台で副会長をしています。自治会員やコミュニティ会員離れが進んでおり、困っています。例えば、会員証を発行するなど「見える化」し、会員証を見せるとゴミ袋が 10 パーセントオフになるというように、町として何かバックアップはできませんか。

また、役員離れについては、役員の仕事をスリム化すべきではないかと思います。広報紙の配布などは、地区の委託業務になっていますが、町から手当を出すことはできませんか。

(町長)

会員証という意見は面白いですね。

また、行事が多すぎるという意見については、地区の行事は 30 年前からほとんど変わっていません。行事を精査する代わりに、地区の抱える問題を解決する時間を増やすなど、共通の利益を得られるようにシフトしていてもいいのかと思います。

【災害時の SNS 発信について】

Twitter を利用した 災害時の対応
(前にみんな指針が出た時困る) 19才楽生

(参加者)

災害時に東浦町に避難勧告がでましたが、Facebook、Twitterなどで情報を集めることができず、不安に思いました。

(広報情報課長)

令和元年年6月からTwitterを開設し、災害対策本部が開設されたときには、SNSの更新を行っています。今年度からは、避難所の情報などをリアルタイムに更新しています。

【老人憩の家の施設について】

(参加者)

老人憩の家のエアコンが効きません。

(健康福祉部長)

全ての地区で一斉に建て替え時期となることから、古い所から順々に対応していくこととなります。石浜地区のエアコン改修時期については、改めてご連絡させていただきます。

【東浦町のPRについて】

(参加者)

愛知県知事のように、町長にも、東浦町の宣伝になる法被を着てほしいです。

(生活経済部長)

観光PRで役立つものがあれば、作成していきたいと思っています。

(町長)

今年度は、おだいちゃんぬいぐるみを作成し、PRを行っています。法被も含めて、シティプロモーションの観点から、よりよい町のPR方法を検討していきます。

また、東浦町に住んでいると、魅力に気づきづらいというご意見がありました。

この東浦町に住んでいる我々としては
東浦町の魅力は解りづら「事もある。
(灯台もと暗し)
他市・他町から東浦はどのような様
に見られているのか 確認お事
必要ではないか?

(参加者)

東浦町は、隣接する市町村と比較すると、歴史ポイントが多く自慢できると思います。武豊線の電化が遅れた影響で開発が遅れたことがよい方向に働き、景観ポイントもたくさんあります。

また、他市町村の方を於大公園にお連れすると、きれいだと行ってくださいます。

(町長)

町に住んでいると気づかないこともありますが、故郷に帰ってくると、よい部分に気が付きます。

東浦町に引っ越してきた方から意見を伺うと、新しい発見があるのではと思います。

【若者のまちづくりへの参加について】

中学校で中学生向けに同じ企画をして若
者の町への関心を高めて欲しい。

(参加者)

小学生のときに神谷町長と話す機会があり、分かりやすいお答えをいただき、政

治に興味を持つきっかけになりました。

中学生などから町への意見をもらったら、面白い意見が得られるのではないかと思います。

・ポケモンGOやIngress、ドラクエウォークを使用した
イベントで、町外の人に来て欲しい。

(参加者)

また、東浦町でスマートフォンを利用したゲームのイベントを行ってほしいです。こういったゲームイベントでは、500人～1,000人の規模で行われることもあります。また、ゲームと現実の地図が連動しているので、東浦町の歴史ポイントに気が付くきっかけにもなります。

(町長)

中学生にもわかりやすい言葉で政治やまちづくりについて伝える機会をつくることで、興味をもってほしいと思います。

【閉会】